

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 19日

事業所名 ワークショップひなげし

保護者等数(児童数) 7 回収数 4 割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1			ケガ等のないよう、体を動かす活動ではテーブルを移動させ、十分なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1			保育士資格または福祉系の資格をもった職員が支援に携わっています。安全にかつ適切な支援が実践できるようにしています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1			エレベーター、手すりが設置されており、トイレについても十分な広さを保っています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	4				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	1		障がいのないお子さんとの関わる機会は現在設けられていませんが、今後、地域の施設の利用などを通して、このような交流の場面をもっていくことができたらと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	1			送迎の際などに利用の様子などをお伝えすることで、保護者の方と発達状況や課題について共通理解をもちたいと考えています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3		1		面談の実施や育児に関する助言は十分に対応できていない状況です。今後、検討していきたいと思います。
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				事業所内で苦情受付窓口、法人で苦情解決責任者を設置しています。万が一苦情があった際は迅速に対応できるよう体制を整備しています。
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4				
保護者 への 説明等	12 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1	3			ホームページで自己評価の結果を公表しています。今後、活動予定以外にも会報等を通して情報を知っていただける機会を設けられるよう検討していきたいと思います。
	13 個人情報に十分注意しているか	4				

非常時等の対応	14	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	2			感染症や緊急時の対応については職員で周知しておりますが、保護者の方への周知・説明が十分ではないため、対応を検討させていただきます。
	15	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2			1年に2回の避難訓練を実施していますが、全てのお子さんの参加は難しい状況です。全てのお子さんに参加してもらえるよう今後検討していきます。
満足度	16	子どもは通所を楽しみにしているか	4				ありがとうございます。引き続き、子どもたちが楽しめるような活動内容、また安心して通えるような環境作りを行っていきたいと思います。
	17	事業所の支援に満足しているか	4				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に依りて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 19日

事業所名 ワークショップひなげし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3				
	2	職員の配置数は適切である	3				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3			エレベーター、手すりが設置されており、トイレについても支援に十分な広さを保っている。	日常的には階段を使用している。エレベーターは必要時にのみ使用している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	1		スタッフ会議を定期的に行い、支援の確認をおこなっている。	時間を調整し、できるだけ多くの職員が関われるようにしているが、不十分なところがある。い。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3				評価表の実施については普段なかなか確認できていない部分を確認する貴重な機会と考えている。実施をきっかけに取り組みを行っていききたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1		結果はご家族への配布、ホームページでの公開としている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3		現在行われていない。今後の法人全体の課題として検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		事業所内外の研修は積極的に取り入れている。また、施設外のものについては伝達研修も行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	1			アセスメントについては子ども達の成長に合わせて実施できるようにしていきたい。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3			長く利用していただいている方も多いため、	自宅で好んで見ているものや聞いているもの遊んでいるものなど、ご家族からお聞きすることもあるため、参考にしながら活動内容を検討していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			活動内容がマンネリ化しないように心がけている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	1		長期休暇については生活リズムが崩れやすいというお話を聞かれるため、スケジュールを区切って過ごしていただけるようにしている。	

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3			次回の利用までには共有できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3			お迎えの引き継ぎの時間を中心に必要な情報が共有できるようにしている。また必要に応じて学校に連絡している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2		受け入れの実績はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2		これまではにケースはないが、就学のタイミングで利用を開始される方については情報を共有し、継続した支援が行えるようにしていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2		本人、保護者、学校、相談支援専門員、当事業所職員が参加する担当者会議または移行会議にて情報提供および共有を図っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3		現状では連携まで至っていない。研修会への参加を検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3		現在、児童館等との交流の機会は設けていないが、今後、交流の機会が設けられるよう検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2		保護者への支援については現状では取り組めていない。具体的な取り入れ方についての情報を集め、検討していきたい。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1	必要となる費用については契約時説明させていただいている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2		現在、保護者会の開催は行っていない。ご家族のご希望を聞きながら、今後検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		苦情窓口を置き、迅速に対応出来るよう体制をとっている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	2		活動予定は毎月お知らせしているが、定期的な会報の発行は出来ていない。利用の様子を伝えられる会報の発行も検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	3			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	事業所のバザーでは地域の方々にもたくさん来場していただいている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1		マニュアルは作成されているが、保護者の皆さんへの周知が十分ではないため、今後努めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	1		実施しているが、全ての児童の参加は難しい状況がある。児童のいる時間に災害が起こることを想定し、訓練も行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		虐待についての研修は全職員を対象に実施している。参加が難しい場合は動画を視聴してもらい、内容を理解していただけるように対応している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1		現状では対象となる方はいらっしゃらないが、対応が必要な場合は適切な手順をとっていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2		現時点では食物アレルギーの方の利用はないが、今後想定されるため、ご家族に相談していきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	随時ヒヤリハットを実施している。	